

## 校区の概要

南浜地域は、江戸時代から明治にかけて港町として大変栄えた歴史のある地域である。校区には今もその名残を残す場所や史跡が多く残っている。また酒造業も有名で酒蔵も多くある。近年の観光ブームもあり全国から観光客が大勢やってくる。そういった歴史や伝統、文化を地域の人々は大切に、誇りをもち次世代の地域の子どもたちに受け継いでくれることを強く意識している。近年は大小様々なマンションが建ち転入の人々も増えてきている。

本校は、創立59年の歴史をもつが、中学校区と小学校区の編成は複雑な過程を経て、昭和55年に横大路、伏見南浜学区となり、さらに平成2年には伏見南浜学区だけとなり、一小学校と一中学校で義務教育9年間を同じ公立で学ぶことになった。

## 生徒の実態と課題

生徒は素直で人なつっこく優しい子どもが多いが、他の小学校の子どもたちからの刺激がないので、ひ弱でたくましさに欠ける面が見られる。自ら課題を見つけ、考え、主体的に課題を解決したり行動したりする面にひ弱さがある。生徒たちがもっている感性を磨いて良さや可能性を發揮できるようにし、意欲を持って主体的に粘り強く問題解決や行動ができる力をつけことが課題である。

生徒一人ひとりを徹底的に大切にする教育を推進し、生きる力を育み、個に応じた指導を行い、生徒一人ひとりが自ら問題を解決する力を培い、生徒の可能性を最大限に開花させ、心身ともにたくましく思いやりのある生徒を育成し、社会に対する責任を自覚させ、社会の発展に主体的に寄与する力をつける。そのために学校教育目標「自ら学び 豊かな心をもち 未来を拓く生徒を育てる」を推進することが必要である。

## 学校教育目標

### **自ら学び 豊かな心をもち 未来を拓く生徒を育てる**

#### 1. 重点目標

- (1) 基礎基本の徹底と、自ら学び、自ら考える力を育成する。
- (2) 人権意識の高揚を図り、豊かな人間性の育成に努める
- (3) たくましく生きるための健康や安全を考え、行動する力を育成する。
- (4) 学びを生活や自己の生き方に生かす力を育成する。
- (5) 家庭と地域社会との連携を密に開かれた学校づくりに努める。

#### 2. 経営方針

一人ひとりの生徒を徹底的に大切にする教育を推進するために、

- (1) 生徒の良さや可能性を最大限に伸ばす指導の充実に努める。
- (2) 家庭の教育力、家庭学習充実への課題を明確にした具体的かつ積極的な働きかけに努める。
- (3) 地域各種団体と連携した取組を推進し、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- (4) 一小一中の利点を生かした小中連携の推進に努める。
- (5) 教職員の意識改革と具体的かつ組織的な行動に努める。

#### 3. 目指す生徒像

- (1) しっかり考え、しっかり伝え、しっかり行動できる生徒
- (2) 人を大切に自分も大切にできる生徒
- (3) 明るく挨拶や返事のできる生徒

#### 4．目指す教職員像

- (1) 情熱と専門的な指導力を持った教職員
- (2) 不断の研鑽を積み研修する教職員
- (3) 行動し、自ら意識改革に努める教職員

#### 5．目指す学校像

- (1) 生徒にとって、明るく楽しい行きがいのある学校
- (2) 教職員にとって、働きがいのある学校
- (3) 保護者や地域にとって、頼りがいのある学校
- (4) 環境にやさしい学校

#### 6．指導の重点

##### (1) 自ら学ぶために

- 基礎基本の徹底に努める。
- 自ら考える力の育成に努める。
- 学力を伸ばす指導の充実に努める。
- 学習評価の充実に努める。
- 不登校の未然防止と学校復帰をめざした支援に努める。

##### (2) 豊かな心をもつために

- 道徳教育の推進に努める。
- 集団づくりと絆づくりの支援に努める。
- 体験活動の拡大に努める。
- 問題行動等の予防と対応に努める。

##### (3) 未来を拓く生徒を育てる

- 望ましい生活習慣の形成に努める。
- 健康や体力の保持に努める。
- 自立して社会の発展に主体的に寄与する力の育成に努める。
- 自らの生き方を考える力を養うとともに、進路保障に努める。

#### 7．教科等の重点目標

##### (1) 教科指導

年間指導計画のもと、各単元の指導の目標・内容・評価の観点と規準を明確にした授業を創造する。

学習意欲を沸き立たせ、学ぶことの楽しさや成就感を味わえる授業を工夫する。

体験的な学習や問題解決的な学習を展開する。

基礎・基本の確実な定着を図る指導方法を研究する。(個に応じた指導、少人数指導、T・T指導など)

学力の確認と授業改善につながる評価・評定を充実する。

##### (2) 選択教科

ねらい

- ・ 基礎基本の確実な定着
- ・ 学習に対する興味・関心・意欲を養う

内容

- ・ すべてを学校選択とする
- ・ 生徒の興味・関心を起こさせ、学習意欲を高めるため、すべての学年で保健体育の時間を設定する。また、1年生では、音楽・美術、2年生では音楽・美術・技術・家庭

の時間を設定する。

- ・ 必修教科の学習内容のより定着をはかるため、2年生・3年生では、基礎的な学習の時間を設定する。

### (3) 総合的な学習の時間

目標

地域の社会，人々及び自然に関する体験的な学習や問題解決的な学習を通じて，主体的な学習の態度を育て，自己の生き方を考えることの出来る生徒を育成する。

つきたい力

- ・ 探究する力
- ・ 人とふれあう力
- ・ 表現する力

学校テーマ

「共に生きる」

学年テーマ

一年生・・・私たちの地域を知ろう

二年生・・・自分の将来と社会を見つめよう

三年生・・・日本と世界の人々と共に生きよう

### (4) 道徳教育

「心の教育」の充実，豊かな体験を通して道徳性の涵養を図る指導を展開する。

「自分と向き合う」「他者を理解する」「人として大切な生き方を深く考える。」ことができる道徳的実践力を高める指導を展開する。

### (5) 特別活動

生徒一人ひとりが主体的に活動し，自治の力を高める学級集団づくり

一人ひとりが自発的，積極的に活動し，全生徒で推進する生徒会活動

ねらいを明確にし，計画性のある学校行事

## 8. 各指導の重点目標

### (1) 生徒指導

人・物・時を大切にする生徒を育成する。

基本的な生活習慣の確立と問題行動防止に努める。

規律正しい生活態度，正義感や公正さを重んじる心，自己責任の自覚や自律，自制心を育成する。

スクールカウンセラー等と連携した心の居場所づくりの推進として教育相談活動を充実する。

相互理解による生徒指導体制の確立と組織的な指導を徹底する。

関係機関との連携を密にする。

### (2) 健康・安全教育

健康増進と身体の安全に努める指導を充実する。

心の潤いと安らぎを与える教育環境を充実する。

発達段階に応じた精神衛生指導を充実する。

事故防止と安全指導を徹底する。

### (3) 人権教育

学校における人権教育の個別課題への取組を推進する。

ア．男女平等教育

- ・ 男女を問わず等しく個性ある人間として尊重し，能力を發揮できる資質や能力の基礎を培う。

イ．総合育成支援教育

- ・障害についての理解と認識を深め，障害のあるなしにかかわらず，互いに尊重し，共に成長しあう基礎を培う。
- ・個々の生徒の実態に適した学習，生活指導を実践する。
- ・自立し社会参加ができる資質を育成する。

ウ．同和教育

- ・人間尊重を基盤とした同和问题認識を深め，解決に向けて主体的に行動できる実践的態度と能力を培う。

エ．外国人教育

- ・民族的差別の解消を目指すとともに，民族や国籍の違いや文化・伝統の多様性を認め，相互の主体性を尊重し，共に生きる国際協調の精神を培う。

人権及び人権問題についての学習を推進する。

各校種及び家庭，地域と連携した人権教育を推進する。

(4) 進路指導・生き方探究教育（キャリア教育）

自らの生き方を考える力を養うとともに、一人ひとりの進路希望の実現を目指す。

進路展望をもたせ学習の基礎となる生活習慣を身につけさせる。

家庭，地域や産業界等との連携による体験的な学習活動を推進する。

(5) 環境教育

「環境にやさしい学校」の積極的な推進を図る。

地球温暖化防止に向けた実践的な環境教育の推進を図る。

家庭，地域社会と連携した「地域に根ざした環境教育」の推進を図る。

(6) 伝統文化・国際理解教育

伝統文化体験活動の実施に努める。

国際理解教育の推進に努める。

(7) 情報教育

社会にあふれる情報を活用するための授業の充実に努める。

IT機器を活用した楽しく分かりやすい授業の推進に努める。

(8) LD等支援の必要な子どもへの教育

必要な教育内容を保護者と共に考える「個別の指導計画」を作成し，系統性のある指導，支援に努める。

必要な支援を柔軟に行う全校的な指導体制を充実する。

学習課題を明確にした交流及び共同学習を推進する。

障害のある子どもの地域での支援ネットワーク作りを推進する。